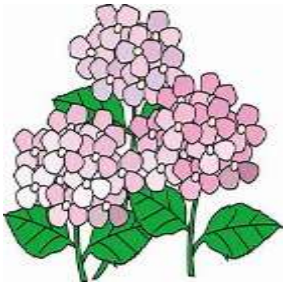
進路だより 自彊不息

6月号

茨城県立結城第一高等学校　令和 4.6.1

コロナ禍の中で例年と異なった進路環境



昨年度は新型コロナウィルスの影響により、企業見学や採用面接をオンライン上で行う企業も見受けられ、さまざまな対応を強いられた一年でした。

進学においても、試験日に万全の体調で臨むために、例年以上に体調管理に気を配らなければならない状態だったことと思います。

現在も、いまだに先が見えない状況ですが、今年も臨機応変な対応が求められる一年となりそうです。このような環境の中でも、今自分にできる最善のことを地道に行っていってほしいと思います。

就職について

身近にある手段を最大限に利用して、 情報を収集し、企業研究を進めよう。

① 進路教室にある各企業のパンフレット等をよく見て、貸し出しをしてもらう。

② 就職情報提供サイト（日本版 O-NET）や各教室にある「13 歳のハローワーク」等を活用して、どのような仕事があるのかを調べてみる。

③ 昨年度の求人票に目を通し、求人票の見方に慣れておく。

④ 企業見学バスツアーに参加して、実際に職場を見る。筑西市と結城市が 3 月に予定。

⑤ 進路ガイダンスの中で、企業の方々による仕事や製品の説明、企業の紹介を参考にする。

⑥ 興味のある企業のホームページを見たり、先輩に職場環境などについて聞いたりする。

昨年度は、一般常識試験や適性検査を実施する企業が多かった印象があります。基礎学力を身につけるために、毎日の授業を大切にしてください。また、明るく大きな声での挨拶、学生らしい身だしなみやマナーは相手に好印象を与えます。学校生活の中で意識して取り組みましょう。

[3年生の今後の予定]

6 月	1(水) ～7(火)	三者面談
	8(水)～14(火)	模擬面接指導Ⅰ
	14(火)	進路ガイダンス
7 月	1(木)	求人票受付開始
	4(月)～8(金)	模擬面接指導Ⅱ
	15(金)	企業見学申込〆切
	21(木)	模擬面接指導Ⅲ（外部講師）企業見学開始
8 月	17(水)	就職希望書提出〆切
	19(金)～23(火)	就職三者面談
	29(月)	就職出願書類提出〆切
9 月	2(金)	就職応募書類発送
	5(月)～9(金)	模擬面接指導Ⅳ
	12(月)～14(水)	進学三者面談
	16(金)	就職試験開始

【求人票を見るときのポイント】

・どのような業界か。（製造、建設、販売、物流など）
・どのようなタイプの働き方があるのか。（日勤か、交代制か。休日はいつか）
・仕事上求められるスキルや資格はあるか。（ワード・エクセル等の PC スキル、運転免許等）
・募集人数は何人か。
・選考試験は何か。（面接、一般教養試験、適性検査、作文等）

＊細かい説明は「進路の手引き」に載せてありますので、そちらを参照してください。

進学について

新型コロナウイルスの影響で、オープンキャンパスや入試相談会の方法が従来のやり方とは異なる場合があります。オンライン上で説明を行ったり、予約制にして参加者の人数を制限したりする場合もありますので、事前に確認をしてください。学校選びをするにあたっては、複数の学校のオープンキャンパスに参加して情報を収集し、多方面から比較をして、納得のいく学校選びをしてください。また、学校推薦型選抜、総合型選抜は合否の結果がでるのが早いため、 早めに納入金の準備をしておく必要があります。

［大学・短大］

大学・短大で学ぶためには、しっかりとした基礎学力を身に付けておく必要があります。学びたいものが明確になっていると、入学後の大学生活をスムーズに進めることができます。受験には一般選抜のほかに学校推薦型選抜（指定校推薦、公募推薦）、総合型選抜（AO 入試）などさまざまな試験方法があります。英検などの外部試験の結果が入試に反映される場合もあります。大学案内や要項を取り寄せたり、オープンキャンパスや進学相談会に参加して情報収集をして、自分に合った学校や受験方法を選んでください。

［専門学校］

学ぶ内容が職業と結びつくため、卒業後に就く仕事を念頭において学校や学科を選択する必要があります。ミスマッチがないように高校在学中に職業の理解を深め、自分の適性をよく見極めておくことが大切です。医療系（看護師、理学療法士、作業療法士、診療放射線技師、言語聴覚士等）などのように国家試験合格が必要となる学科に進む場合は、特にしっかりと勉強する覚悟が必要となります。専門学校は、実習を伴う学科が多いため、日頃から体調管理に気を配り、遅刻や欠席をせずに高校生活を送る習慣を身に付けておいてください。入試の成績などによって入学金や授業料の一部を免除する学校もあります。日ごろから何事にも努力を惜しまずに取り組んでください。

【見学（情報収集）のポイント】

カリキュラム	総授業時間数。実習・演習の時間数。認可校か無認可校か。
施設・設備	新しい技術に対応している施設・設備か。学ぶ生徒数に対する充実度はどうか。
講師陣	専任講師と非常勤講師の比率。有名講師がいる場合、実際どれくらい指導してもらえるか。
学費	学費以外に実習費・教材費・研修費などが必要になることもある。合格発表後１～２週間でまとまったお金を納める必要がある。
就職状況	自分が希望する分野に就職できるのか。 （裏面の「主な進路先」や「進路の手引き」を参考にしてください。）
資格・検定	自分の取得したい資格は取れるのか。その学校の生徒の国家試験・資格試験等の合格率。
学校の様子	施設・設備の充実度。指導者や学生の雰囲気。自分との相性はどうか。